

令和6年度小松市立芦城小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<p>〈積極的な生徒指導による児童の主体性の育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の4つの視点（自己存在感、共感的人間関係、自己決定、安心安全な風土）を生かした学年・学級経営や授業づくりに努める。 ・学期に1回、3年生以上の学級で、学級力アンケートを実施し、児童が主体となって学級をよりよくする取組を考えて実行する。終業式で紹介し合い、互いに認め合う場を設ける。 ・学校全体で活動できる取組や縦割り活動を児童会を中心に企画し、実施できる場を設ける。 		
	<p>〈気持ちの良いあいさつの定着を図る〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの大切さについて全校で考え、実践していく。 ・まず児童会や6年生を中心に、気持ちの良いあいさつを全校に広げる。そして、クラス単位や縦割りなど、挨拶の輪を広げ、誰にでも進んで気持ちの良いあいさつができるようにする。 		
道徳教育	<p>〈ゲストティチャー活用と道徳授業の質的向上を図る〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティチャーの活用を図る。 ・道徳授業で活用する道徳用指導案や板書用挿絵などを整備していき、道徳授業に活用できるようにする。 		
	<p>〈読書の質的向上を図る〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おすすめ10冊」や並行読書の取り組みを通して、読書に対する意欲の向上を図るとともに読書の量と質を上げる。 ・朝の時間の教師や図書ボランティアによる読み聞かせを通して、いろいろな本の種類に出合わせる機会を作り、読書の幅を広げる。小松読書の日に家庭学習で読書に取り組む。 		
保健健康教育	<p>〈自分の姿勢に関心を持ち、生活改善する〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の会后、体育の授業時に、良い姿勢の保持や体幹強化につながる体操を行う。 ・定期的に姿勢のチェック・アンケートを行い、意識づけをする。 ・学校保健委員会のテーマに「良い姿勢で座ることの大切さ」について取り上げて理解を図り、その後も追跡調査を行う。 		
	<p>〈学習端末を活用した授業実践〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童がタブレットを使う授業を、全学級において一週間に1回以上行う。 ・月に1回授業実践の報告を行い、実践の共有化を図る。 ・毎週金曜日の集義堂タイムにおいて、タブレットを活用した学習を行う。 		
G I G A 情報教育			
学校関係者評価			

学校関係者評価	